

ちきゅういろ えんぴつ

それは、こどもに
未来の地球環境を
教えてくれる色鉛筆。



現状：

日本人の環境意識は先進国の中でもかなり低く、G7中でなんと最下位。
環境に配慮した行動を取ったとしても、環境意識からではなく「実利」や「同調」が主な動機となっている。

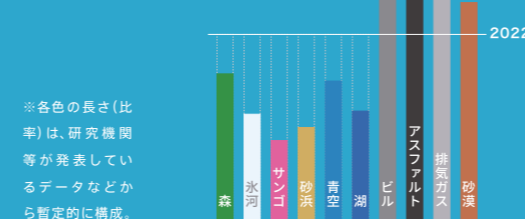
目指すこと：

環境問題に関するニュースは、子どもたちにとって専門的すぎて実感がわきづらい。未来を担う彼らのために、もっと環境問題を「自分ゴト」化できる機会をつくりたい。

アイデア：

環境破壊の将来予測データを反映した、「長さがバラバラの色鉛筆」を制作（森や湖などの美しい色が短く、排気ガスなどの汚い色が長い）。この色鉛筆で子どもたちに「未来の地球の絵」を描いてもらう「授業」を行い、より親しめる形で環境意識の向上を図る。また色鉛筆は実際に販売し、売上を環境保全に役立てる。

1. 2050年時点の自然の減少予測をデータ化



2. グラフの比率を長さに反映した色鉛筆を制作



3. この色鉛筆を学校で配布して授業を行う



参考：
https://organic-press.com/local/japan_report34/
<http://www.waseda.jp/weee/master/data2010/pdf/data20.pdf>

